

# 東北地方太平洋沖地震復興プロジェクト

Heart on Coin “絆” プロジェクト

企画書

Heart on Coin “絆”プロジェクトチーム

## プロジェクトの経緯と想い

2011年3月11日、東北地方太平洋沖地震が発生しました。あまりにも多くを失い、今も厳しい寒さの中ただ耐えて命をつないでいる方々を目の当たりにして、黙って通り過ぎることができないという思いを持った学生が集い、3月16日「Heart on Coin “絆” プロジェクト」を立ち上げました。

関西学院大学がある西宮、神戸三田の地域は1995年1月17日に阪神淡路大震災にみまわれました。当時、国内外問わず寄せられた多くの支援のおかげで現在のような街にまで復興することができました。今度は私たちがかつてない大震災に直面している方々の支えになる番だと思っています。

実際に、私たちは家も家族も仕事も失われた人々に何ができるのでしょうか。このような事態では一体何が必要なのでしょう。メッセージだけではお腹いっぱいになれません。そして私たちの支援できる額のお金だけでは失ったもののすべての埋め合わせは到底できません。私たちが支援できるお金は現地の失ったものの大きさや苦しみに比べると本当にわずかなものです。しかしこの二つを掛け合わせ、お金に気持ちを添えることによって、金額を超えた想いが伝わると考え、私たちは「Heart on Coin “絆” プロジェクト」というお金とメッセージを一緒に届けるプロジェクトを考えました。これによって今、困難に立ち向かっている人々と、遠隔地からではありますがともに立ち向かいたい、この気持ちが人々に伝わって、現地の人々の“心”が奮い立つことを願っています。

また、このプロジェクトに携わる者の中には1999年10月26日にトルコで発生したコジャエリ地震で被災されたコジャエリ大学の学生と交流を持った者もおります。そのトルコを基軸とした海外からも日本のために支援がしたいとの声をいただき、深く感銘を受け、震災というものが生み出す縁を感じております。このような、人の想いと想いがつながる活動を私たちが生み出していけたらと考えています。

## 目次

プロジェクトの経緯と想い.....	2
1. 概要.....	4
2. プロジェクト・デザイン.....	6
3. 活動内容.....	7
添付資料	

## 1. 概要

プロジェクト名	Heart on Coin “絆” プロジェクト
主旨	<p><b>“心”と“心”をつなぐ顔の見えるお金の支援</b></p> <p>Web サイト、街頭での呼びかけに応じて国内外から送られてきたメッセージとお金を、選定した被災地の学校や福祉施設、漁業組合などの組織へ送る。これにより、被災者に気持ちを奮い立たせてもらう。</p> <p>また、被災者からも支援者に対してメッセージの返信をもらい、Web サイト上で支援先の様子、被災者からのメッセージを公開、報告する。</p>
期間	2011年3月16日～2011年6月16日
対象地域	被災地の小中学校
プロジェクト実施者	関西学院大学国連学生ボランティアプログラム 関西学院大学日本トルコ学生交流プログラム プロジェクト・サイクル・マネージメント研修 上記参加者および有志
実施パートナー	特定非営利活動法人 国際協力アカデミーひろしま
国内協力機関	関西学院大学 DELIGHT
支援先候補	宮城県石巻市 小学校 宮城県多賀城市 小学校

### プロジェクト連絡先

電話

050-5868-8810

E-mail

[heartoncoin@kwansei.ac.jp](mailto:heartoncoin@kwansei.ac.jp)

Web サイトアドレス

<http://aicat.org/heartoncoin/>

### 学生代表者

代表 辻 彩

(関西学院大学 総合政策学部 4年)

副代表 竹原 慎太郎

(関西学院大学 法学部 4年)

中村 静香

(関西学院大学 総合政策学部 3年)

岡田 法子

(関西学院大学 総合政策学部 3年)

### ①社会性

- ・ 支援者の“心”をメッセージとして被災者に伝えることができる。メッセージによって少しでも被災者の“心”の支えになると考える。
- ・ 支援側の特定の機関と被災地の特定の機関をメッセージや Web サイトを通して“つなぐ”ことができる。将来的に情報共有や共同企画などでこのつながりを継続させていける。

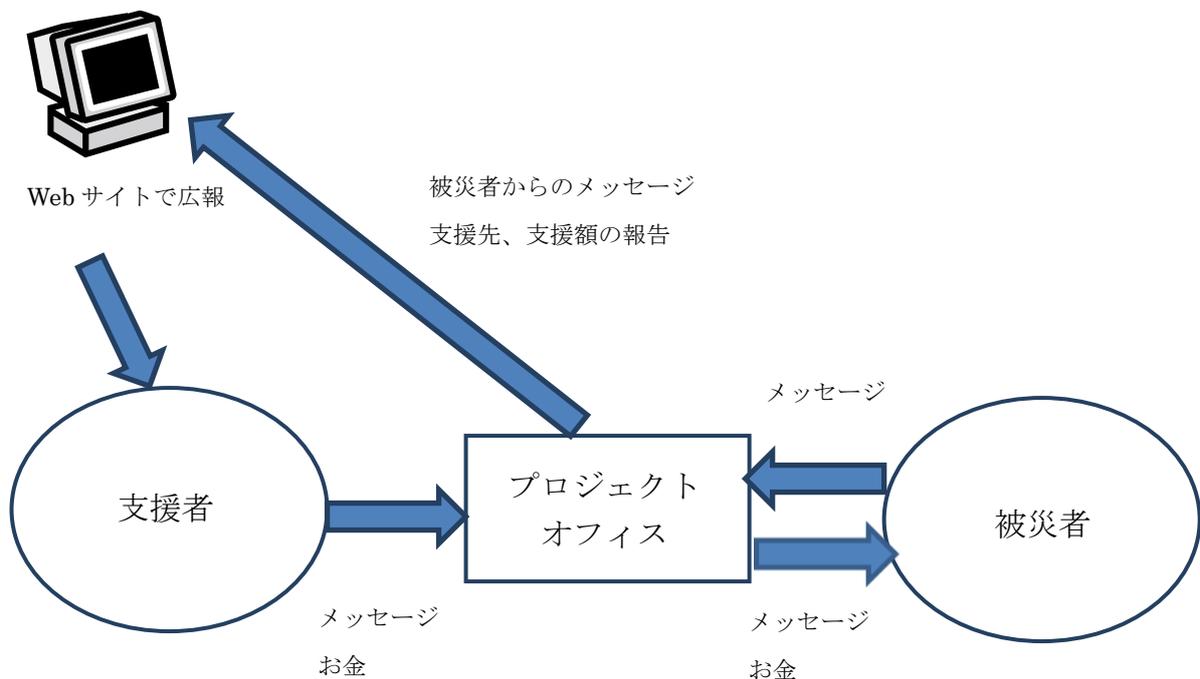
### ②透明性

- ・ 支援後の被災地からの報告により、支援したお金とメッセージの行く末がわかる。そして、報告を見た人から新たな支援の輪が生まれる。

### ③継続性

- ・ 相手の顔が見える支援を行えるため、活動の風化を防ぎ継続的な支援ができる。

### ▼支援の輪の図



## 2. プロジェクト・デザイン

### 【上位目標】

被災者と支援者の間に人的ネットワークが構築される

### 【プロジェクト目標】

メッセージを添えたお金を届けることにより、被災者の方々の気持ちが奮い立つ

### 【成果】

- ①Web サイトのリニューアル
- ②支援先の選定
- ③国内からのメッセージ収集と募金の受入
- ④海外からのメッセージ収集と募金の受入
- ⑤メッセージの旗づくり
- ⑥マスメディアへの広報

### 【活動内容】

次ページ以降ご参照



### 3. 活動内容

活動は以下7点を行う。

#### ① Web サイトのリニューアル

活動目的：支援の呼びかけを掲載し支援者の数を増やす

被災者からのメッセージ、活動報告を行い支援者への説明責任を果たす

#### ② 支援先の選定

活動目的：適切な支援先を選定する

	必須条件	オプション条件
パイロット校	<ul style="list-style-type: none"><li>・現地訪問可能</li><li>・原子力発電所がない地域</li><li>・顔の見える支援ができる人数規模の施設（100～300人程度）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・将来を担う人が多いところ</li><li>・マスコミ対応を受け付けてくれるところ</li><li>・支援先と支援元が支援後もつながりを持てるような接点があること</li></ul>
一般校	<ul style="list-style-type: none"><li>・企画に賛同してくれる団体であること</li><li>・メッセージを受け付けられる環境が整っていること（電話、FAX、E-mail）</li><li>・永続的に存在する団体であること</li><li>・支援先の代表者が明確であること</li><li>・平常時も健全な活動を行っていること</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・海外の人にも特別の説明をしなくてもよい活動をしていること</li><li>・支援先を増やす協力をしてくれるところ</li><li>・長期に連絡の取れる人がいること</li></ul>

### ③ 国内からのメッセージ収集と募金の受入

#### a. 支援依頼型

例) 兵庫県内の小学校へ依頼

学校で子どもたちにプロジェクトの趣旨を説明させてもらう。

学校（教室など）に募金箱を設置させてもらう。

募金をしてくれた子どもたちに被災者に向けたメッセージを書いてもらう。



メッセージ例  
〇〇小学校△年生 N.S.  
お年玉の一部です。頑張ってください。

お金の経緯を記入する理由：直接は被災していない募金者が少しな  
りとも募金という形でお金を出し、協力することで、被災者と「痛  
み・悲しみ・苦しみ」を共有するため。

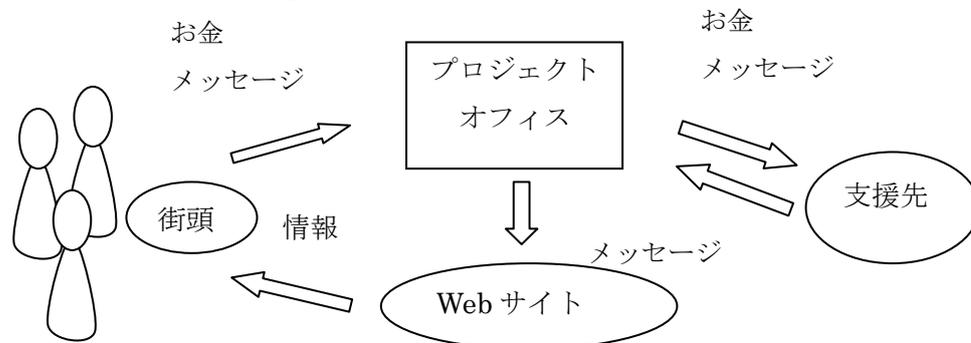
#### ※メッセージ収集の際の必要事項

- ①所在地（本人の出身等。）
- ②身分（年齢、性別）
- ③ニックネームあるいは本名
- ④お金の経緯+被災者へのコメント

#### b. 街頭募金型

例) 宝塚駅で街頭募金

ノートやカードなどを用意しておき、募金をしてくださった方々に被災者に向けたメッセージを書いてもらう。



メッセージ例  
宝塚市 大学生 R.O.  
アルバイトで稼いだ1万円です。

ぜひ、現地の復興のためにお役立てください。

### C.郵便振り込み型

郵便局から振り込む場合と銀行から振り込む場合では「振込用紙の記入方法」が異なります。そのため、下記の2通りの方法を提示します。

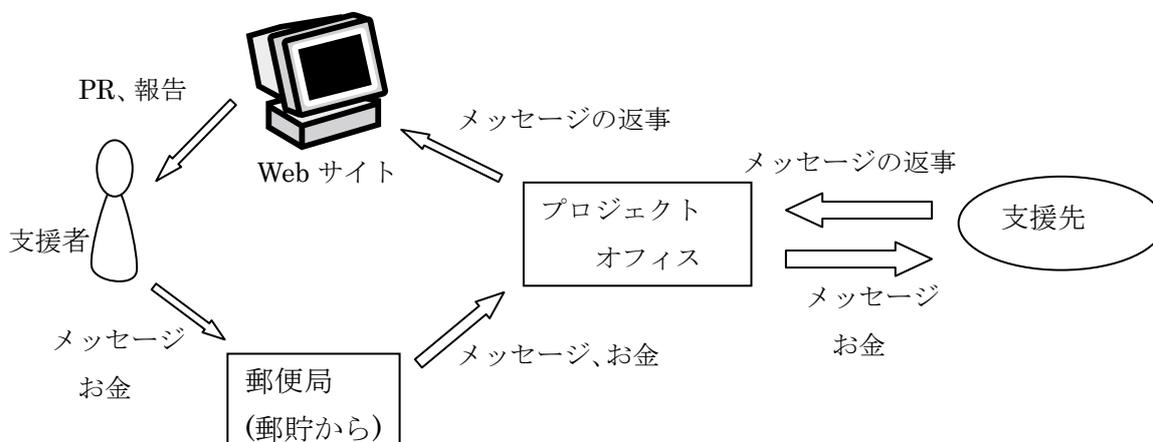
#### 1、郵便局から振り込む場合

口座番号：01380-7-16425

特定非営利活動法人国際協力アカデミーひろしま

The image shows two forms used for postal remittance. The left form is the '払込取扱票' (Remittance Slip) with account number 002605 and amount 85. The right form is the '郵便振替払込請求書兼受領証' (Postal Remittance Request Form and Receipt) with the same account number and amount. A red circle highlights the 'メッセージを記入' (Enter message) field on the remittance slip.

※メッセージの記入事項は8ページを参照



2、他銀行から振り込む場合（海外から振り込む場合はこちら）

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番号：139

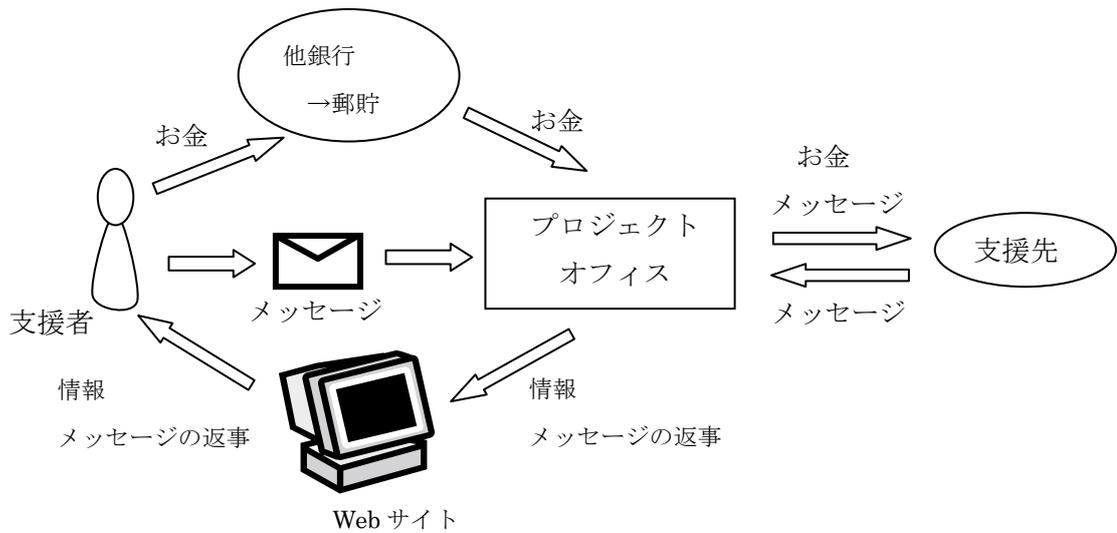
預金種目：当座

口座番号：0016425

かな氏名：トクテイヒエイリカツドウホウジン

コクサイキョウリョクアカデミーヒロシマ

※上記の場合メッセージは、下記のメールアドレスに必要な事項を記入する形で送ってください。



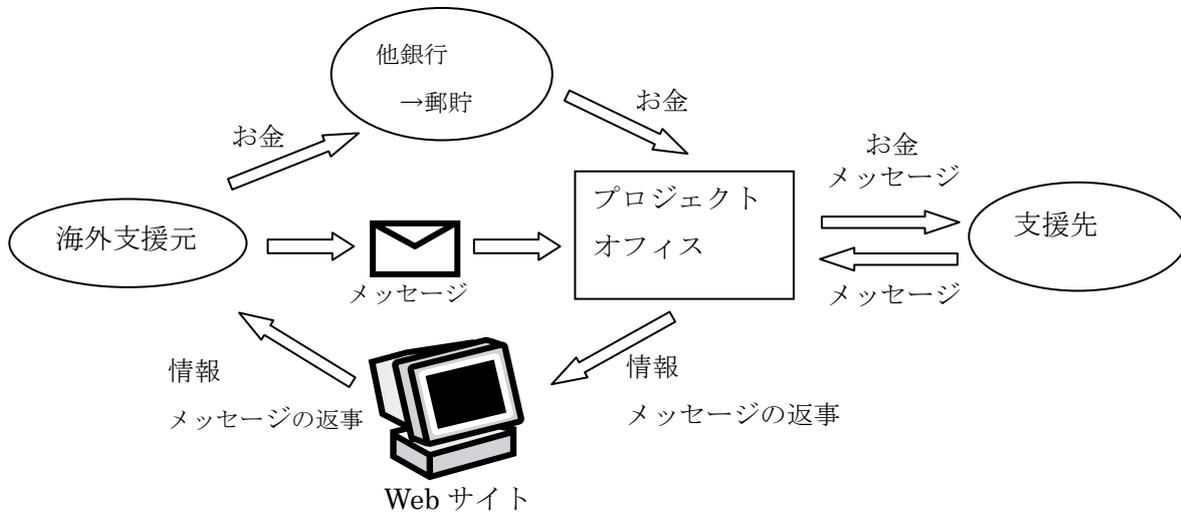
送信先メールアドレス

heartoncoin@kwansei.ac.jp

※メッセージの記入事項は 8 ページを参照

#### ④ 海外からのメッセージ収集と集金

活動目的：海外からの熱い想いを受け取る



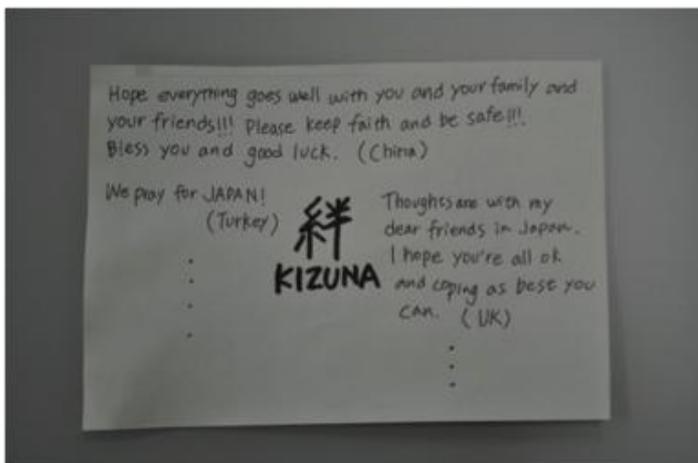
#### ⑤ メッセージの旗づくり

活動目的：海外からのメッセージを1つの旗に集約し被災した小・中学校へ贈呈することで、より多くの被災者の心を奮い立たせる

目標：100カ国

関西学院大学では JICA 兵庫から開発途上国よりの研修生に対するジェネラル・オリエンテーションを受託し、実施している。このオリエンテーションに学生が参加しており、ここで築かれた国境を超える研修生たちとのつながりを活用する。また、プロジェクトメンバーの中に留学経験者などがおり、すでに多くのメッセージが海外から届き始めている。これらの応援メッセージを1つにまとめて被災者の方々に届ける。

↓メッセージの旗のイメージ図

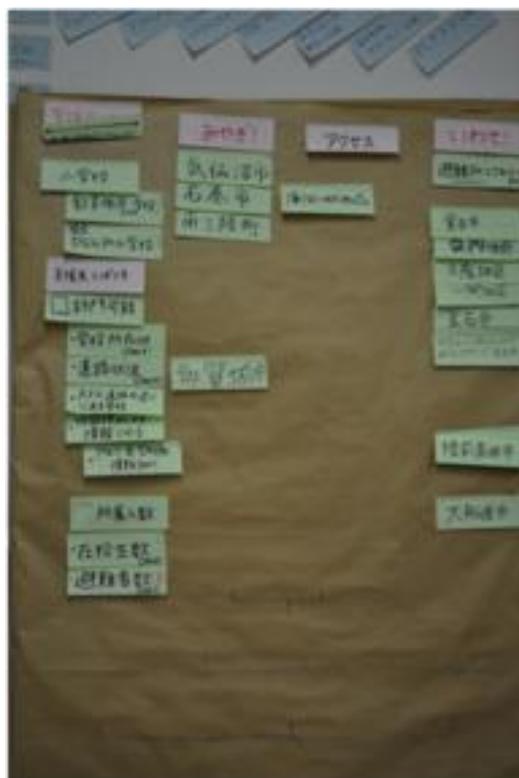


## ⑥ マスメディアへの広報

活動目的：支援の輪を広げる

マスメディアを通じて私たちのプロジェクトを紹介し、多くの人に知ってもらうことで、私たちが描く支援の輪を広げるきっかけとする。

### プロジェクト会議の写真



## 添付資料①

### 活動詳細

活動名	Web サイトのリニューアル
実施日	2011年3月19日
目的	支援の呼びかけを掲載し支援者の数を増やす 被災者からのメッセージ、活動報告を行い支援者への説明責任を果たす
内容	① Web サイト作成能力のあるメンバーを選定する ② 活動紹介、報告のページを作成する

活動名	支援先の選定
実施日	2011年3月19日
目的	適切な支援先を選定する
内容	① 被災地域の学校をリストアップする ② リストアップした学校の情報を収集し、支援候補先へ連絡する ③ 現地に赴き、支援候補先の代表者へプロジェクトの趣旨を説明する ④ 支援候補先から承諾を得る
備考	現地視察のルート検索、経費の積算
準備物	企画書

活動名	国内からのメッセージ収集と集金
実施日	2011年3月19日
目的	国内からの支援者の熱い思いとお金を収集する
内容	<p><b>a. 支援依頼型</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 協力団体を選定する</li> <li>② 協力候補団体へ連絡する</li> <li>③ 協力候補団体へ訪問し、企画の趣旨を説明する</li> <li>④ 協力候補団体の承諾を得る</li> <li>⑤ 協力団体でメッセージとお金を集める</li> <li>⑥ 金額を集計する</li> <li>⑦ メッセージを編集する</li> </ul> <p><b>b. 街頭募金型</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① メッセージカードの作成</li> <li>② フライヤーの作成</li> <li>③ 街頭募金場所の選定</li> <li>④ 日時の決定</li> <li>① 街頭募金とメッセージの収集を行う</li> <li>② 金額を集計する</li> <li>③ メッセージを編集する</li> </ul> <p><b>c. 郵便振り込み型</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① Web サイト上で情報を公開する</li> <li>② 支援者に郵便局でお金を振り込んでもらう</li> <li>③ 郵便振込用紙の通信欄にメッセージを記入してもらう</li> <li>④ 郵便振込用紙がプロジェクト本部へ届く</li> </ul> <p>振込用紙のメッセージを編集する</p>
準備物	企画書、募金箱、メッセージカード

活動名	海外からのメッセージ収集と集金
実施日	2011年3月30日
目的	海外からの支援者の熱い思いを受け取る
内容	① 支援者への呼びかけと情報開示 (Web サイト、つながりのある国への依頼) ② 支援者とのメールのやり取り ③ 海外からメッセージとお金が届く 海外からのメッセージの翻訳
備考	翻訳の人員協力

活動名	支援先へメッセージの送信と送金
実施日	2011年4月6日
目的	被災者へ想いを伝える
内容	① 支援先へ送金日の連絡を取る ② メッセージとお金を送る ③ 支援先からメッセージをもらう ④ 支援先からのメッセージと支援金額、現地の状況などをホームページ上で報告する

活動名	さらなる支援の輪を広げるためのマスメディアへの広報
実施日	2011年3月23日
目的	支援の輪を広げる
内容	① 関西学院大学の広報室へ連絡する ② 全国紙、地方紙に連絡する ③ 活動の企画書を送る ④ 取材を受ける